

アンモナイトのレプリカを作ろう！

熊本博物館



「アンモナイト」って、知っていますか？ 見たこと、聞いたこと、ありますよね…??
別のファイルに「アンモナイトの説明（せつめい：Q&A）」がありますので、ぜひ読んでみてください！ きっと新しい発見（はっけん）があるはずです。

問題①：昔、「アンモナイト」という名前の生きものが海にいた！ 本当かな？

問題②：「アンモナイト」と、現在も生きている「オウムガイ」は同じなままです！ 本当？

→ 答えは…、別のファイル「アンモナイトQ&A」を読んでみましょう！！

【作り方】



※中央のうすい緑色の「型（かた）」は、本物のアンモナイト（化石）からシリコンで「型」をとったものです。
（歯医者さんにある「歯型」成型用）

【材料（ざいりょう）・道具】

- ・アンモナイトの「型（かた）」
【シリコン製】
- ・速硬性 石こう（およそ50g）
- ・水（およそ25g：右下の容器）
- ・ゴム容器（石こうと水を入れる）
- ・へら（石こうと水をまぜる）
- ・墨汁（ぼくじゅう）と筆（ふで）

石こうの粉（こな）が目に入らないように、作業（さぎょう）するときにはゴーグルを着けましょう。作業用のうすい手袋（てぶくろ：ゴム手袋など）をして…、いざ！！



【アンモナイトの「型枠（かたわく）」】



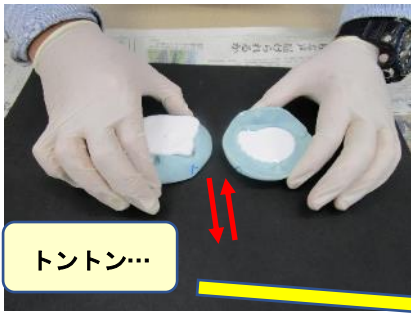
あらためて、いざ！ 作りましょう！！

作業中はゴーグルを！

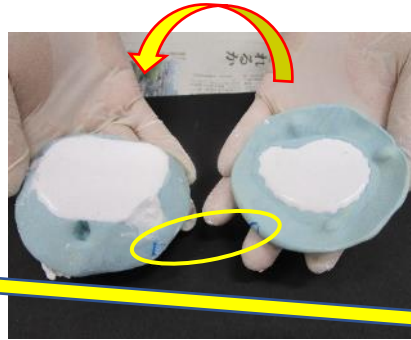


- ①ゴム容器（ようき）の中に、粉が飛びちらないように気をつけながら「石こう」をやさしく入れ、容器のまわりの方から（かべにそって）「水」をゆっくりとそそぎます。
- ②へらで「石こう」と「水」をやさしく混ぜ（まぜ）合わせていきます。
※このときも、粉が飛びちらないように！

- ③アンモナイトの「型」をひらき、上部・下部：両方（りょうほう）に、水と混ぜてやわらかくなった「石こう」を入れます。



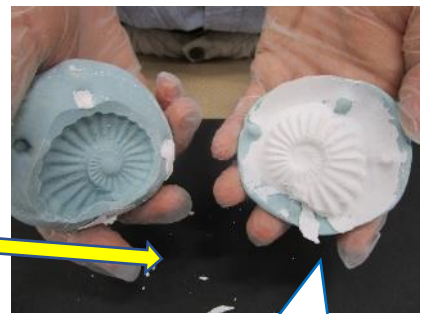
トントン…



パコン！！

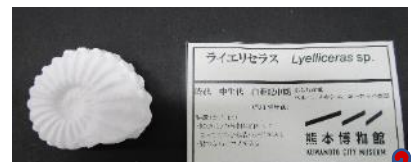
- ④石こうを入れたら、写真のように持って「トントンントン…」と机に何度もかるく当てます。
 ⑤「型」のすみずみに石こうをつめながら、中にふくまれている空気のあわを追い出します。

※練習どおりに「しるし」を合わせ、「パコン！」ととじましょう！！



- ⑥大きめの輪ゴムで固定（こてい）し、20分ほど待ちます（待ち時間にプレゼン・解説！）。
 ⑦（およそ20分後…）ゴムを取りのぞき、写真のように「境目（さかいめ）」に指をそえ、少しずつ力をくわえながら上と下の「型わく」をはなします。

※アンモナイトの「レプリカ」が姿（すがた）を見せました！



やったー！完成！



※はみ出した石こうの部分（バリ）を取りのぞくと「レプリカ完成！」（へこんだ部分は石こうをつめて！）



黒くぬったら…、まるで「本物！」